

市防災訓練に参加しましょう!!

市では、11月1日(土)に一斉津波避難訓練を実施します。

防災訓練は、「自分の命は自分で守る」ための練習です。今回は、避難訓練に参加するために意識してほしいポイントについて紹介します。

① 地震発生～避難開始

揺れが収まるまでは、頭を守るなどの安全確保行動をとる。避難は揺れが収まってから！

強い地震が発生すると、数分間揺れが続きます。その間は動くことは困難です。訓練では、地震発生をお知らせする防災行政無線を2分程度放送しますので、放送が終わるのを目安として避難を開始してください。

☑Checkポイント □火の始末、ブレーカーをおとす □非常用持ち出し袋 など

② 津波警報発表

ただちに避難開始！市からの避難指示は待たない。

非常用持ち出し袋を持って、周囲に避難を促す声掛けを行いながら、市指定津波避難場所や町で決めた避難場所へ避難してください。

☑Checkポイント □避難の声掛けが、より多くのかたが避難するきっかけとなる
□津波到達予想時間より早く逃げる
□避難経路に危険はないか など



③ 市指定津波避難場所や町で決めた避難場所へ到着

町内会・自治会のかたに避難したことを伝え、市に避難者数を報告する！

市指定津波避難場所などの決まった場所に集まるということは、津波から身を守ることはもちろんのこと、住民同士の安否確認という意味があります。また、市へ避難者数を報告するということは、避難者(被災者)がどれだけいるということを町と市のお互いが把握するためです。

☑Checkポイント □地震発生から何分で避難完了できたか など



市ホームページ

④ 年1回の防災訓練を「備え」のきっかけとする

一斉津波避難訓練参加にあたってのポイントなど、くわしくは市ホームページを確認してください。

一人一人が備えてこい！
防災力UP！鳥羽

vol.148

総務課防災危機管理室

TEL 25-1118

108SMILE 市民活動団体紹介 つながり. 31

「鳥羽市能楽保存会」

108SMILE ホームページ
URL <https://108smile.jimdofree.com/>



市民課人権・市民交流係
TEL 25-1126

鳥羽では子ども達が能楽に取り組んでいます。地元の小学生・中学生を対象にした「鳥羽市能楽保存会」です。鳥羽での能楽の歴史は古く、300年余の歴史があります。賀多神社の能楽は1691年(元禄4年)に流行した悪疫退治のために神事踊りをしたのがその始まりです。その当時、町民たちは笛・鼓・太鼓で踊り祈禱しました。そのことで神が神社まで戻り病氣も治っていったのだそうです。「能楽を継承していくことが、鳥羽の元氣や繁栄につながる」と、子ども達に能楽を教え伝えています。

毎月2回練習会を開催しており、その成果は市民文化祭や地元小学校・幼稚園・保育所や県内各地の能楽祭などで披露しています。子ども達の能楽とはいえその内容はかな

り本格的です。伊勢から毎回プロの狂言師の方が指導にきていますし、披露の際に着ている衣装はナント150年以上経ったものもあります。全て麻素材で貴重なため、大切に使っています。

能楽と聞くと敷居が高いイメージがあるかもしれませんが、実は狂言は笑いの要素も含んだ文化芸能です。台詞を覚えるのは難しいし、衣装は暑く動きづらいです。でも台詞は面白いし、内容や意味も何となくわかります。

その魅力は体験してみないとわかりません。能楽だからと構えるのではなく、子ども達のように素直に楽しみ、笑ってみましょう。それが鳥羽の未来につながります。

子ども狂言経験者で小浜町出身の中村陸さん、師匠の茂山千三郎さんによる「柿山伏」「居杭」「寝音曲」の公演が決定しました！

とき 令和8年1月18日(日)
開演 午後1時30分(開場 午後1時)

ところ 市民体育館サブアリーナ

問い合わせ先 鳥羽市能楽保存会会長 川村光徳
TEL 25-3743